

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月14日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 東濃高等学校 ガイダンス室
- 4 参加者
- | | | | |
|-----|--------|----------------------|----|
| 会長 | 筒井 幹次 | 御嵩町副町長 | |
| 副会長 | 佐口 清道 | 会社役員 | |
| 委員 | 奥村 恒也 | 御嵩町教育長 | |
| | 各務 眞弓 | 可児市国際交流協会・フレビア事務局長 | |
| | 嶋崎 友美 | PTA副会長 | |
| | 田中 妙子 | 税理士 | |
| | 仲谷 ちぐさ | PTA副会長 | |
| | 矢島 幹也 | 一般社団法人 てらす 代表理事 | |
| | 山田 泰平 | 東海化学工業(株) 業務部人事・総務課長 | |
| | 渡邊 剛 | 地域代表 (欠席) | |
| | 学校側 | 吉田 益穂 | 校長 |
| | | 柴田 純孝 | 教頭 |
| | 土本 繁 | 教頭 | |
| | 野田 幹也 | 事務長 | |
| | 佐合 ゆかり | 教務主任 | |
| | 篠田 祥史 | 進路指導主事 | |
| | 前田 知美 | 生徒指導主事 | |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 「授業参観」について

意見1: 積極的に生徒が取り組んでいて、学校が力を入れていることがわかった。自習の授業もあったが、仲間で教えあっていて楽しく学習していた。ホワイトボードは見やすくてよい。(複数)

意見2: 1年生は国際クラスが2クラス。3年生では国際クラスがなくなり、生徒が進級していく上で、学校の思いについて理解できた。(複数)

(2) 学校評価アンケート結果(生徒・保護者)についての概要説明及び領域ごとの分析

※学校評価アンケートの集計結果については本校HPに掲載

○教頭による概要説明

○教務、進路指導、生徒指導の各領域についての関係職員による説明

意見3: 登下校中のマナーの苦言は、地域の同じ人が繰り返し言うのか、違う人が言うのか。

⇒ 同じ人が繰り返し提言される場合もあるが、色々な方々から話をいただいている。電話連絡のたびに、各クラスに注意喚起を行っている。

別紙様式 3

意見 4 : 毎年アンケートがわかりにくい。「よくあてはまる」「ややあてはまる」は「あてはまる」ではいけないか。「体罰・ハラスメントがない」の回答で「あてはまらない」は二重否定になるのでわかりにくい。本当の声を聴くには、表記をもう少しわかりやすくすべきである。(複数)

意見 5 : 「わからない」と回答する生徒が毎年多く見受けられる。外国につながる生徒の日本語の理解の問題もあろうが、学校での取組みをわかりやすく伝えていく工夫が大切である。(複数)

⇒ 意見 4・5

県からのアンケートを、本校でもわかりやすい表記に変更したが、さらに改善に努めたい。

意見 6 : 保護者アンケートは昨年度より改善された部分も見受けられるが、回答率が減少しているため一概に判断できない。回答率を高め、アンケートについては毎年繰り返しアップデートしていく必要がある。

意見 7 : 保護者のアンケートは、三者懇談の待ち時間等で、学校で準備した機器で回答できないか。

意見 8 : アンケート集計結果の表記で前年比の増減が「△」「▲」で表示されていてわかりにくい。

⇒ 意見 6・7・8

機器の準備も含めて、来年度以降保護者の回答率が上がるように工夫するとともに、わかりやすいアンケートになるよう改善していきたい。

意見 9 : 御嵩町の幼稚園、小中学校は東濃高校生徒のボランティアを楽しみにしている児童生徒がいる。お兄さん、お姉さんの姿に憧れ、たくさんの学びの場になっている。

意見 10 : 他校のボランティアと違い、東濃高校生徒は自分自身が支援してもらったことへの恩返しとして、また自分たちが自分たちらしく活動できる場とする姿勢がある。運営協議会委員として東濃高校の活躍をアピールしていきたい。

意見 11 : ボランティア活動等、保護者も参加できるよう、保護者の募集を今後も実施してほしい。

(3) 「東濃高等学校に期待される社会的役割等(スクール・ミッション)」の策定に向けて

○校長、教頭による概要説明

意見 12 : 御嵩町行事へのボランティア参加や小中学校との交流会など、地域に根差した活動が顕著なことから、「主体的な」は入れてほしい。

意見 13 : スクール・ポリシーの作成に関わったが、その際キーワードとなった、「主体的」「多様」「地域貢献」の3点が盛り込まれている。語の使用順をスクール・ポリシーとそろえた方がわかりやすいのではないかな。

意見 14 : 「ふるさと」の言葉で「日本」「母国」「第三国」を表現する意図はよいが、「グローバル」のような言葉の活用を検討してもよい。

意見 15 : よく考えられている。人によっては、「ふるさと」は何か所あってもよく、広い意味合いとして地域に根差した教育活動を通してのアンサーになる。

⇒ 意見 12~15

意見をふまえて検討したい。

別紙様式 3

(4) その他

- ・第3回の本協議会を1月16日に、地域探究類型の3年生学習報告会に合わせて実施する予定。

6 会議のまとめ

第2回の本協議会では授業を参観していただき、楽しく積極的に活動している生徒の姿を見ていただいた。また学校評価アンケートを通じて、各分掌長の報告や本校の取組みについて理解いただくとともに、多くの意見をいただき今後の課題についても確認できた。スクール・ミッションの検討では、本校のよさや、地域から期待されている本校の役割を再認識することができ、策定に向けて考え方を共有することができた。

委員の皆様からは、よりよい学校運営のための様々な提言をいただけた。本校生徒の更なる成長のために、年度末に向けての教育活動にも取り組んでいきたい。